

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターのびろ 【放課後等ディサービス】		
○保護者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2025年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2024年12月1日 ～ 2024年12月27日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	2024年4月に開設したところであり、設備や生活空間が整っている。	その設備や備品、より有効に活用するための勉強会を定期的に行っている。また利用者にとって役立つのかについての研修を職員間の個別支援会議で共有している。	職員の自己研鑽に引き続き努めたい。
2	職員に公認心理師、看護師、保育士、理学療法士など国家資格取得者を多く採用している。	療育および支援技法、虐待防止、権利擁護さまざまな観点からの研修に積極的に参加している。	職員の自己研鑽に引き続き努めたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	2024年4月に開設したところであり、移行支援(進学や就労)に向けての取り組みの経験がない。学校関係者や児童館、就労施設とのつながりに欠ける。	開設から1年も経過しておらず、利用者(子ども)の進級、進学、就労を支えるための経験がない。	1年1年、放デイを利用しておられる利用者(子ども)を通して、相談支援専門員さん、移行先の職員の皆様と関係連携(会議や訪問)を三つに連絡を取り合うことで、経験を増やしていく。
2	2024年4月に開設したところであり、所在地の地域住民の方との結びつきに欠ける。	内覧会の案内等は自治会を通じて配布したものの実際に訪れた方はまだおらず、当センター側もそれ以上のアプローチをしていない。	2024年度は近隣のコンビニに行き、好意的な言葉をいただいた、など個別に幾力所か挨拶を行った。2025年度は近隣の自治会の子ども会さんとのコラボ事業ができないか模索中である。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こども発達支援センターのびろ 【放課後等デイサービス】
------	-----------------------------

公表日 2025年 3月 1日

利用児童数 17名 (2024年12月1日現在)

回収数 13名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13				・いろいろな部屋がある。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12			1	・十分だと思えます。		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1			・そう思います。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13				・そう思います。		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12			1	・ごちからの情報を聞き入れてもらい、とても考えて頂いていると思う。 ・こどもの特性やペースを尊重して関わってくださるので大変ありがたいです。		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13				・そう思います。		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12				1	・細かく計画を立てて頂いている。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12				1	・そう思います。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12			1		・そう思います。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	2			3	・1回1回の活動が工夫されている。 ・プログラム内容に変化があるため子供も飽きることなく興味を維持できます。	・プログラムはその目的によって、固定化つまり繰り返したほうが良いものと変化させたほうが良いものがあります。のびろではお子さんに合ったプログラムを組むよう心がけています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	6		5	・求めている観点ではそもそもない。 ・情報なし ・現時点ではないのですが、今はまずグループ内の交流が大事だと思うので外部のこどもとの交流は特に希望していません。	・現時点で取り組めていないことのひとつです。お子さんにとっても地域にとっても有意義になる活動を今後も検討してまいります。
保 護 者 へ の	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13				・初めに説明してもらった。	・満点をいただきました。今後も丁寧な説明に心がけます。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13				・説明時、他の親御さんの前よりも、いないところの方が有難いかなと思いました。 ・説明受けました。	・配慮に欠いた計画の提示をしたことをお詫びします。今後そのようなことがないようにいたします。申し訳ありませんでした。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	4	3		4	・研修会ありました？すみません、忘れていたのかも。 ・今のところない。 ・研修会等について情報提供を受けたことはない。 ・希望すれば教えていただけるのかなと思っています。	・のびろでは福井市地域障がい児支援体制強化事業の一環として、ご家族対象の勉強会や保護者サロンを企画してまいります。その都度ご案内しますのでぜひご参加ください。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13					・毎回の利用時、口頭などで伝え合っている。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2				・始まったばかりなので、今後定期的な面談があると思う。	
17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					・そう思います。	・満点をいただきました。今後も共感を大切に支援に心がけます。	

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		3	5	5	<ul style="list-style-type: none"> ・始まったばかりの事業なので、今後保護者同士の交流の機会があるのかな。 ・保護者会という名目でなくても、毎回の活動振返りの時間を保護者に向けて設けてくださっているので、自然と他の保護者さんとお話する機会にもなり、ありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・のびろでは福井市地域障がい児支援体制強化事業の一環として、ご家族対象の勉強会や保護者サロンを企画してまいります。 ・ご兄弟支援については今後の課題としていきます。ご相談やご要望ありましたら、ぜひ職員にお教えください。 	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・体制もできており、対応も早いと思う。 		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				1	<ul style="list-style-type: none"> ・十分に考えてもらえると思う。 	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	2	1	5	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・HPやSNSは確認しておりませんが発信されているのでしょうか・・・？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPに当センターの理念や方針、支援内容などを掲載しています。ぜひ一度ご覧ください。 	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	3				<ul style="list-style-type: none"> ・説明時、他の親御さんの前よりも、いないところの方が有難いかなと思いました。 ・そう思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮に欠いた計画の提示をしたことをお詫びします。今後そのようなことがないようにいたします。申し訳ありませんでした。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	3		6	<ul style="list-style-type: none"> ・説明はあったと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの安心安全を確保するための各種マニュアルを策定し職員一同順守するよう心がけています。センター内に掲示してありますのでお時間あるときにご参照ください。 	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1		9	<ul style="list-style-type: none"> ・情報なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・のびろでは年二回避難訓練を実施しています。うち一回は福井市中消防署西分署のご協力のもと真剣に取り組んでいます。 	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・そのように見える。 		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1		2	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ事故等はないが、体調面のことは伝えてもらったことあり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幸いまだ事故等は発生していませんが、その際は迅速且つ適切に対応できるようマニュアル等も整備しています。 	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13				<ul style="list-style-type: none"> ・安心感があるからニコニコです。 ・そのように見える。 	・	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1			<ul style="list-style-type: none"> ・どんなに疲れていても体調悪い時でも「行きたい！」と言います。 ・楽しみにしている姿が見える。 ・本人の調子や気分によって意欲的に通所するときと嫌がる時がある。しかし活動が幅広いのでお買い物体験やスノードーム作りなど、子供の関心が高まる活動を計画してくださってありがたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほとんどのお子さんが楽しみにしてくださっているとのこと嬉しく思います。職員一同さらに精進いたします。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	1			<ul style="list-style-type: none"> ・親子ともに満足している。 		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援センターのびる 【放課後等ディサービス】		公表日 2025年 3月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		2025年4月に開設したところであり、設計段階から定員に見合った部屋数とスペースを確保してある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		2025年4月に開設したところであり、ピクトグラムや掲示板、ホワイトボードなどの配置など、わかりやすい環境に仕上げている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		設計段階から様々な工夫を凝らしてある。また空気清浄機も各所に配備した。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		個室から多目的室、大型研修室まで、こども一人一人に配慮した部屋の使用が可能である。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		月2回、1回3時間(計6時間)を業務改善や個別支援のためのミーティングに充てて、全職員が意見を言い合える環境を整えている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		本評価表の結果を職員だけでなく利用ご家族にも配布し、課題を皆で改善する意識を共有している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月2回、1回3時間(計6時間)を業務改善や個別支援のためのミーティングに充てて、全職員が意見を言い合える環境を整えている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		外部から研修講師を招き、療育支援プログラムに対して忌憚ない指導を受けることで、業務の質向上に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		外部講師による研修だけでなく、外部研修受講を積極的に勧めている。またそのための費用負担も行っている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	6		そのように心がけている。 複数担当制を敷いている。	
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		そのように心がけている。 月2回の職員会議で、繰り返し「こどもの権利と最善の利益」について共有している。	
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		12・13のとおり	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		標準化されたアセスメントシート(各種発達検査・評価)の研修受講を推奨している。またその時々「行動を観る」を意識している。	
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		月2回、職員会議で全利用児の個別支援会議を実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		そもそも固定化したほうが良い利用児もいるので、固定化しない工夫という意図が分からない。その子にあったプログラムの立案に心	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			そのように心がけている。各プログラム担当者間で、ミーティングの時間を確保するようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			そのように心がけている。各プログラム担当者間で、ミーティングの時間を確保するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			全職員に常にガイドラインの理念と内容を参照し、複数の職員でプログラムの立案を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			利用児の通っている病院やこども園、福祉事業所、学校には原則、こちらから一度は出向くようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1			今年度4月からの事業開始で、まだ日が浅いため、学校との連絡窓口が不明確な場合もあり、今後の検討課題である。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1			今年度4月からの事業開始で、まだ日が浅いため、学校との連絡窓口が不明確な場合もあり、今後の検討課題である。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1			今年度4月からの事業開始で、まだ日が浅いため、成人期の事業所との連絡窓口が不明確な場合もあり、今後の検討課題である。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6				
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1			今後の課題の一つと考えている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			福井市自立支援協議会こども部会委員	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6				福井市の地域障がい児支援機能強化事業に於いて、各種研修会や保護者サロンを企画・実施しているが、のびろの利用家族への参加促
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6				
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	今年度4月開設時の内覧会は、地域自治会にも案内を配布。	施設遊具の開放や自治会子ども会との交流、災害時の施設開放など、今後取り組むべき課題は認識している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3	本アンケートは2024年12月に実施した。BCPは2025年2月に策定し、全職員と内容を共有したところである。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		看護師を中心に、利用児の医療的ケアの内容と処置について確認と状況に応じた対応を日々確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		職員担当保育士と看護師を配置。昼食提供者および法人内管理栄養士とも密接な連携をとっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		担当委員会を設置。定期的な委員会の開催と検討内容の周知を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	担当委員会を設置。定期的な委員会の開催と検討内容の周知を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		担当委員会を設置。定期的な委員会の開催と検討内容の周知を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		担当委員会を設置。定期的な委員会の開催と検討内容の周知を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		担当委員会を設置。定期的な委員会の開催と検討内容の周知を行った上で、個別支援計画にも反映している。		